

展示会出展情報

2013NEW環境展

企業の社会的責任や持続可能な循環型社会の構築に向けた環境汚染・地球温暖化問題の解決が課題とされる中で、資源有効利用や多様な新エネルギーの活用は、環境対策にとって最重要の取り組みです。各種課題に対応する環境技術やサービスを一同に会し、環境関連の情報発信や産業発展を目的としたものです。都産技研からは、環境技術グループが出展します。ご来場をお待ちしています。

平成25年5月21日(火)～24日(金)
10:00～17:00(最終日のみ16:00まで)

●会場 東京ビッグサイト
東展示棟、屋外会場(東京都江東区有明3-10-1)

●入場料 1,000円(税込)(事前申し込み)

●展示内容(予定)

- ①都産技研の事業紹介、本部紹介
- ②都産技研の技術開発
 - ・環境防カビ試験
 - ・木材からのセルロース抽出
 - ・廃木材中塩分の簡易自動測定装置

●ホームページ

<http://www.nippo.co.jp/n-expo013/>

東京都ベンチャー技術大賞募集開始!

「東京都ベンチャー技術大賞」は、ベンチャースピリットに富む中小企業が開発した、革新的で将来性のある製品・技術を表彰することにより、東京の産業の活性化と雇用の創出を図ることを目的とした制度です。

現在、平成25年の募集受付中です。時代を創る革新的な製品技術の応募をお待ちしています。

- 対象 都内の中小企業が開発し販売する商品化5年未満の製品・技術
- 賞 賞状・トロフィーの他、副賞として以下の賞金を贈呈
大賞300万円、優秀賞150万円、奨励賞100万円
このほかに、特別賞(50万円)を設ける場合もあります。

●締切 5月27日(月)17時必着

●表彰式 10月30日(水)(予定)

応募方法等詳細は産業労働局ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/sogyo/venture/venture.html>をご覧ください。

●お問い合わせ先

東京都産業労働局 商工部 創業支援課創業支援係
TEL 03-5320-4763 FAX 03-5388-1462
E-mail:S0000474@section.metro.tokyo.jp

受賞報告

AWARDS

都産技研の研究者が行っている研究や開発が各分野から表彰されました。

表面技術グループ 副主任研究員

土井 正

受賞名 文部科学大臣表彰
『平成25年度 科学技術賞 技術部門』

表彰団体 文部科学省

受賞理由 「ホウ素の排水規制に対応したクエン酸ニッケルめっき法の開発」
人体影響への不安がなく使用でき、なおかつ耐食性に優れる等新たな機能・特徴を持つ実用めっき法を開発し、新めっき技術の創製にも寄与したことを評価。

受賞日 平成25年4月16日(火)

バイオ応用技術グループ 副主任研究員

斎藤 正明

受賞名 文部科学大臣表彰
『平成25年度 科学技術賞 開発部門』

表彰団体 文部科学省

受賞理由 「放射能測定信頼性を向上させるトリチウム電解濃縮装置開発」
先端技術の固体高分子電解質膜、不溶性電極、電子冷却を採用した、自動制御の濃縮装置を世界で初めて完成させ、開発型中小企業の振興や原子力施設の漏洩放射能監視の信頼性向上・計測の効率化に寄与したことを評価。

受賞日 平成25年4月16日(火)

「広域首都圏輸出製品技術支援センター」 1都8県公設試験研究機関に連携拡大

より幅広い技術分野や国際規格への対応強化を図ることで、各地域の産業の活性化、イノベーション創出に取り組んでいきます。

都産技研と埼玉県、千葉県、神奈川県、長野県の1都4県の公設試験研究機関が連携し、中小企業の海外展開を支援する「広域首都圏輸出製品技術支援センター」(以下、MTEP)。平成24年10月24日の開設から、国際規格や海外の製品規格についての相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験、延べ15件のセミナーの開催を含め、さまざまな技術的な支援を行ってきました。

平成25年4月1日より、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県の公設試験研究機関を加え、1都8県の公設試験研究機関に連携を拡大・強化し、より広範な技術支援を始動しています。

●お問い合わせ

都産技研 経営企画室 TEL 03-5530-2426

広域首都圏輸出製品技術支援センター TEL 03-5530-2126

1都8県で共同運営



新理事からのごあいさつ

理事／開発本部長 原田 晃

小森谷 清 前理事の後を受けて、平成25年4月1日付で理事に就任した原田 晃です。こちらに来る前の4年間は、仙台に所在する独立行政法人産業技術総合研究所(以下、産総研)東北センターで、東北地域の産業育成や振興に貢献するための産学公連携活動に従事してきました。とは言っても、産総研は自ら研究・開発を実施する機関ですから、東北地域の中小企業の皆さまを直接支援している各県の公設試験研究機関(以下、公設試)との連携を強化することにも力を入れてきました。その公設試と同じ立場にあり、また、全国一の規模である都産技研をご利用いただく中小企業のお客さまを支援する責務はとて大きいものと身の引き締まる思いです。特に、研究開発を掌理する開発本部長を拝命しましたので、中小企業の皆さまの立場に立った研究・開発の在り方をよく考え、職員とともに実行していきたいと存じますので、皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。

久しぶりに関東圏内に戻ってきて、今はつくば市から通っています。以前、都内に通勤していたのは10年前。毎朝、高速バスで通っていましたが、首都高で事故があると到着するのがお昼近くになり、勤務先にしばしば迷惑をかけたものでした。鉄道網が整備されて、今ではずいぶんと便利になりました。仙台での单身生活ですっかり鈍ってしまった体を少しは引き締めようと、休日にはテニスを再開しようかと思っている昨今です。

